宮崎日日新聞(2018 年 9 月 1 日付)に掲載されました！

8 月 31 日に KIRISHIMA サンマリンスタジアム宮崎で行われました　U18 日本代表対宮崎県高校選抜チームの壮行試合におきまして、本校野球部エース源　隆馬君が 9 回 1 イニングを登板し、圧巻の 3 奪三振無失点で抑える好投！
その活躍が宮崎日日新聞に掲載されました。

野球U18日本代表壮行試合

本県選抜を4－2

KIRISHIMAサンマリンスタジアム宮崎で31日に行われた野球のU18（18歳以下）高校日本代表－県高校選抜は、日本代表が4－2で勝利した。県選抜は戸郷翔征（聖心ウルスラ）から投手陣が17奪三振と気を吐いたが、打線が振るわなかった。（1面に関連記事）

県選抜は、一回途中から登板した戸郷が六回までに9三振、九回を任された源隆馬（宮崎学園）が3三振をそれぞれ奪った。打線は0－4の五回、内野安打2本と3四死球で2点を返したが、計3安打に抑えられた。

日本代表は初回、野尻幸輝（木更津総合）の左中間三塁打などで2点を先制。五回にも野尻の適時三塁打などで2点を追加した。今夏の甲子園大会で準優勝した秋田・金足農の吉田輝星が九回の1イニングを無失点。最速は149キロをマークした。

▽壮行試合
日本代表　2000200004
県選抜　0000200002
▽三塁打＝野尻2▽二塁打＝藤原、小泉▽盗塁＝日4（小園2、蛭間2）県2（清田、宮永）▽失策＝県2（伊藤、長尾）▽暴投＝山田、戸郷
▽試合時間　2時間47分

7回から1回ずつ投げて無失点で切り抜けた県選抜の（右から）桝田、正手、源（那良卓郎撮影）

3投手好投 七～九回無失点

○…県選抜は七～九回に登板した桝田佳吾（宮崎工）、正手海成（宮崎西）、源隆馬（宮崎学園）の3右腕が好投。無失点で抑え「高校最後の晴れ舞台で最高の思い出ができた」と声を弾ませた。

三者凡退に抑えた桝田は、社会人からの誘いを断り本格的な野球はこの日が最後。「低めに投げる持ち味を発揮でき、緊張もせず楽しめた。大満足」と笑みを浮かべた。

正手は大阪桐蔭の主砲藤原恭大を内角の直球で詰まらせ、打ち取った。受験勉強で大学を目指しており「日本代表のスラッガーを抑えたのは人生の財産になる」。

大学で野球を続ける予定の源は、直球主体で圧巻の3奪三振。「気持ちの強い球を投げられた。自分の長所は直球だと再認識できた。今後に生きる経験」と自信を深めていた。

（中野裕二）

「宮崎日日新聞社　提供」